

HC160219-03

2016年2月19日

**女性の理想の男性は、9割^{※1}がアンチエイジングをする清潔感ある方
『尿もれ克服の日』に先駆け、女性から見た「男のちょいモレイメージ」を調査
男性7割^{※2}が下着やズボンに“シミ”おっかけモレを経験、春ズボンの色に注意**

ユニ・チャーム株式会社（本社：東京都港区、社長：高原豪久）は、軽い尿もれ専用品から大人用紙おむつまで、排泄ケア市場を牽引するメーカーとしてお客様に様々な商品やサービスを提供しています。この度、2月20日『尿もれ克服の日』に先駆け、女性から見た「男のちょいモレイメージ」を意識調査しました。今回は、調査結果の一部をご紹介します。

※ 1 ユニ・チャーム調べ

※ 2 尿モレ経験者のうち、下着やズボンにシミを経験した方



男性を意識する女性 イメージ

■意識調査のまとめ

- ◆女性が好感をもつ男性の条件として、約9割が「清潔感がある方」を評価した。
- ◆女性から見た男のちょいモレは、約7割が「歳をとれば仕方がない」と感じている。
- ◆妻の2人に1人は、夫が尿モレした場合、「私に相談してほしい」と望んでいる。
- ◆男性(夫)がズボンのシミを放置したり隠したりすることは4割が「不衛生である」、約3割が「職場の同僚に気づかれないか心配」している。
- ◆約7割の女性が、生活習慣に気をつけて、早めにケアをしてほしいと望んでいる。
- ◆男性が尿ケア専用品を使用することは、6割が「衛生的でよい」と好感をもっている。

◇他、各項目での年齢別データ、夫のちょいモレに“気づいたきっかけ”、ちょいモレで“愛はさめるか”等、大変興味深い結果があります。
このほかの詳しい調査結果につきましては、下記お問い合わせ先までよろしくお願い致します。

<<本件に関するお問い合わせ先>>

ユニ・チャーム(株)お客様相談センター

TEL:0120-041-062

■意識調査の背景

近年、仕事やプライベートで若々しく活動的に過ごす男性が増えています。男性のちよいモレの原因として、男性特有の前立腺のトラブルが一般的に知られます。また、男性の尿道は女性に比べ長いことから起こる“おっかけモレ”（排尿後尿滴下）により、注意していても尿の切れが悪く、男性の約7割が下着やズボンへの“シミ”を経験しています。その一方で多くの女性は、常に自分の「美」を追い求め、自分を輝かせるエッセンスを知り、美意識の高い女性が多く存在します。

そこでこの度、女性から見た「男のちよいモレイメージ」をテーマに、意識調査をしました。今回は、調査結果の一部をご紹介します。

■調査概要

調査対象：20～69歳の既婚女性

回答者数：210人

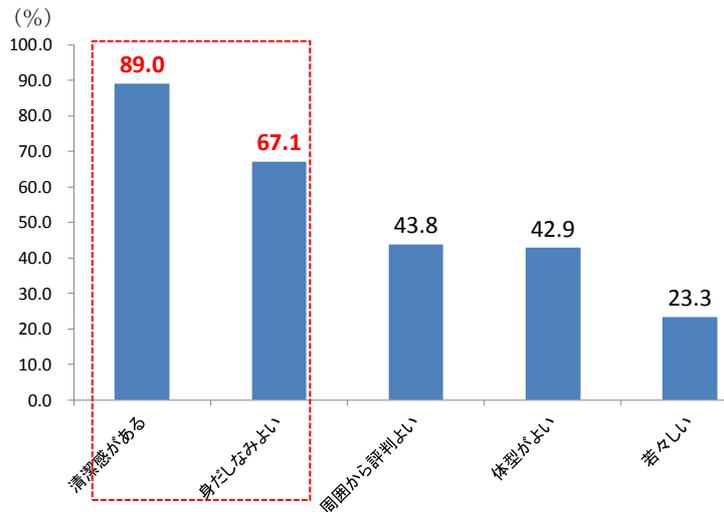
調査期間：2016年1月22日～1月27日

調査方法：インターネット調査

■調査結果

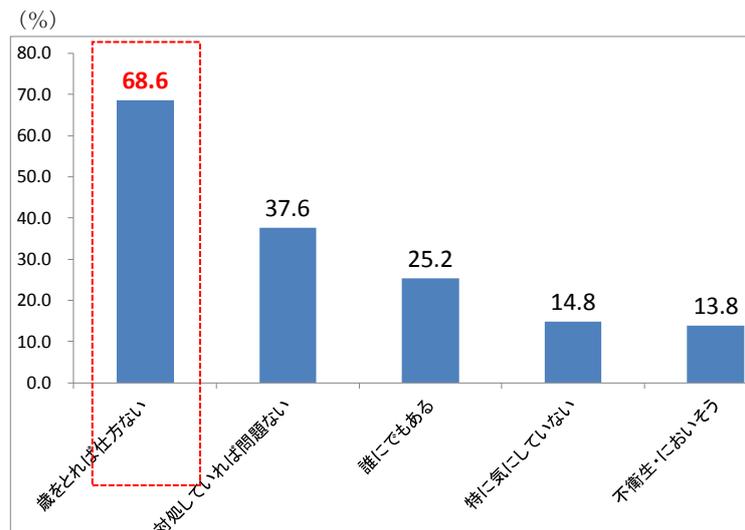
(1) あなたが好感をもつ男性の条件とは？

「清潔感ある方」89.0%、「身だしなみが良い」67.1%とエチケット対処する方を評価。

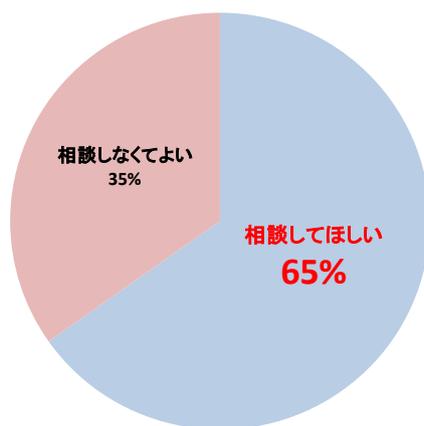


(2) あなたは男性のちよいモレをどのように思いますか？

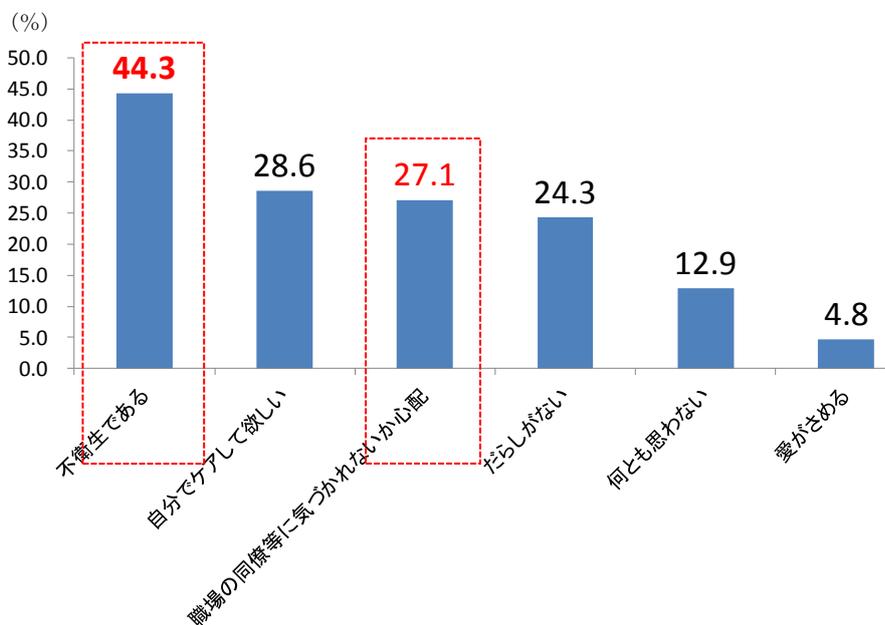
「歳をとれば仕方がない」68.6%と評価。一方、対処意識は持ってほしいと望む。



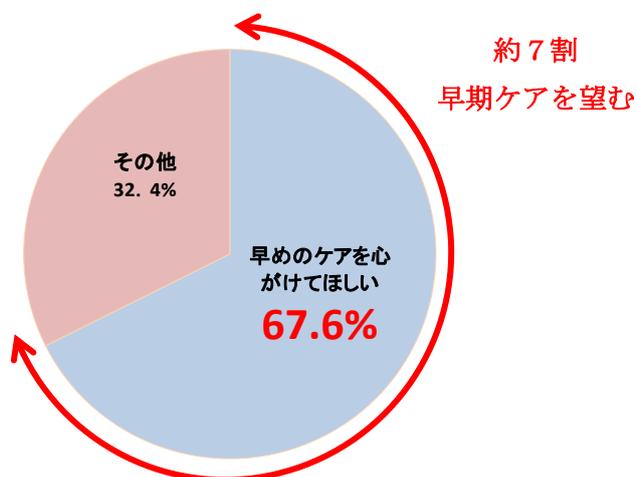
(3) 夫が尿もれで悩んでいたら、私（妻）に相談してほしいと思いますか？
妻の2人に1人は、夫に悩まず私に「相談してほしい」と望む。



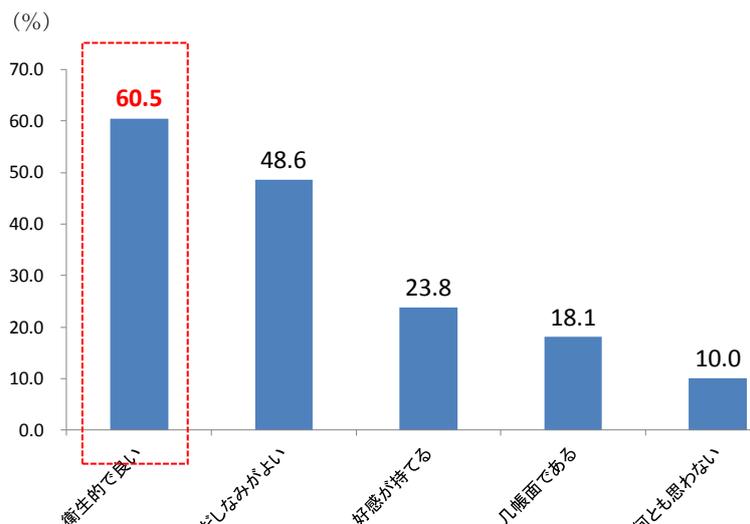
(4) 夫が下着やパンツのシミを隠す行為をしていたら、どのように思いますか？
「不衛生である」44.3%「職場の同僚に気づかれぬか心配」27.1%と気遣う。



(5) 男性（夫）がちよいモレをしていたら、どのようなケアをしてほしいですか？
女性の約7割が、生活習慣に気をつけて、早く正しいケアをしてほしいと望む。



(6) ちょいモレ男性が、尿ケア専用品でケアすることをどのように感じますか？
「衛生的でよい」60.5% 「身だしなみがよい」48.6%と好感をもつ。



■当社の考察

今回、女性が好感をもつ男性の条件に、「清潔感がある方」89.0% 「身だしなみがよい方」67.1%など、いつまでも清潔で若々しくアンチエイジングを心がける男性に好感をもつ傾向にあります。また、女性の2人に1人は悩まず相談して欲しいと望み、早めに正しいケアを行うことを願うという点が確認できました。

今回の意識調査を通して、女性から見た男のちょいモレは約7割が、「歳をとれば仕方がない」と捉え、エチケットとしてもケアを心がけて欲しいと望んでいることから、“尿もれ”の不安や悩みを気軽に相談しやすい環境作りに加え、少しでも快適に過ごして頂く一助になれるよう、今後とも排泄商品や尿もれ情報の提供を通じてサポートを行って参ります。